

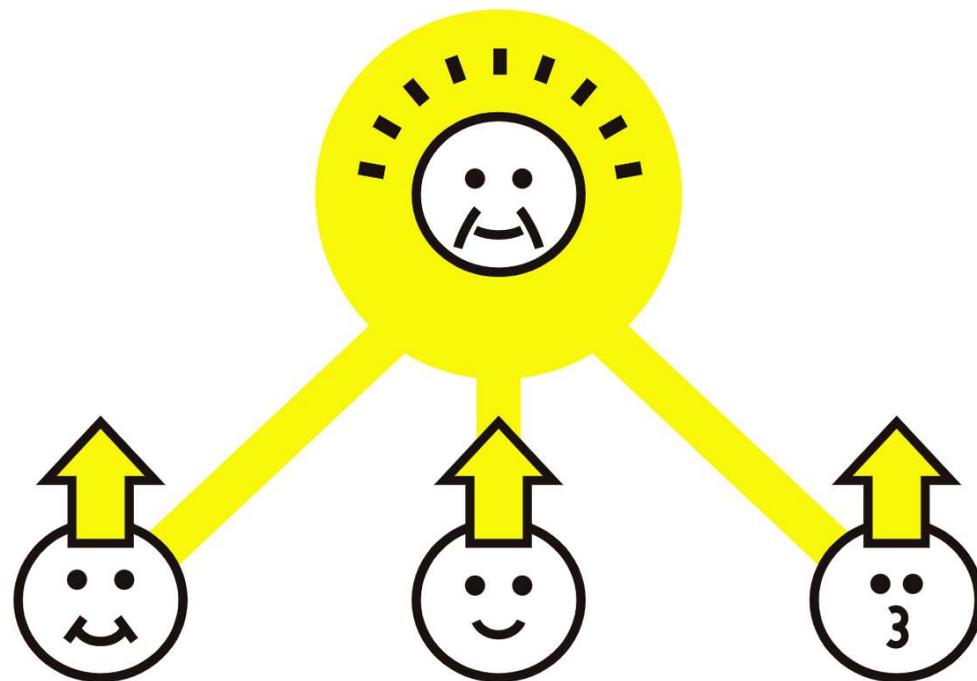
水戸に住む外国人市民の地域コミュニティ参加への支援事業

うちにおいでよ水戸プロジェクトin有賀



NPO法人
ちいきの学校

「シニアが元気」は、
いいことだ！



シニアの元気が、ちいきを変える

水戸市内の外国人市民 4,000人～5,000人

外国人市民の不安

「近くに頼れる人がいない」

水戸市内の外国人市民 4,000人～5,000人

日本人市民の不安
「どんな人たちか知らない」

水戸市内の外国人市民 4,000人～5,000人

双方の不安を取り除く取り組みを
外国人市民増えている「今」だからこそ
取り組まなければならない

うちにおいでよ水戸プロジェクトについて

〈現状の課題〉

- ・外国人が安心して暮らすには、地域に頼れる人とのつながりが必要
- ・しかし、受入体制・広報・交流機会が不足している

〈事業の方向性〉

- ・自然に交流できる「第三の関わり方」をつくる
- ・町内会とNPO等をゆるやかにつなぎ、参加のきっかけを増やす
- ・Web・パンフレットで啓発を進める

〈目指す姿〉

- ・外国人と地域住民がつながる「共生モデル(ありがモデル)」をつくり、市内へ展開する

第三の関わり方

「いきなり」じゃなくて「ゆる～く」

古民家カフェ

ありが分校



有賀+珈琲

OPEN

GLA



有賀十米プロジェクト

(5～10月 田植え、稲刈り、収穫祭イベントを開催)



毎月10日に有賀十市を開催



第三土曜は子ども食堂



地域住民向け やさしい日本語講座

ポイント

- ①スモールスタート
- ②言葉に頼らない交流
- ③「参加者」ではなく「当事者」

期待される効果

- ①顔の見える関係ができる
- ②町内会との接点生まれる
- ③受入に前向きな地域が増える

ゴール 有賀モデル

有賀で実践



見える化



水戸全体へ横展開

水戸の未来

外国人も地域住民も
「ここにいていい」と思えるまち